

市の親善大使 ミサंगा



▲福津市納涼花火大会で演奏するミサंगाの皆さん。左から高尾さん、佐藤さん、高島さん

ミサंगाは全国各地で活動しているアコースティック3ピースバンドです。福岡市内の大学の音楽系サークルで出会い、意気投合した佐藤裕亮さん、高島直也さん、高尾和行さんが平成18年に結成しました。メンバーのうち、高島さんと高尾さんが市内の県立光陵高校に通っていたことが縁となり市の親善大使に就任しました。

「福津の歌づくり」は市制15周年の記念事業として始まりました。実行委員の募集を受けて「福津を盛り上げたい」との思いから、10人の学生が立ち上がり、メンバーは私を含む高校生8人と大学生2人。授業や部活動の後に市役所に集まって、昨年の8月から話し合いを始めました。

まず「福津のイメージ」や「どんな歌詞にしたいか」「メインテーマを何にするか」について意見を交わしました。ミサंगाからもアドバイスをもらいながら話し合った結果、メインテーマは「つながるさと」に決まりました。

歌のテーマは「つながるさと」

「ふるさと」に思いをはせることができる歌詞に

You're My Home

(歌詞抜粋)

ラ～ラララ ラ～ラララ
ラ～ラララ ララッタッタッタ
ララララ ララララ
ララララ ララッタッタッタ
みどりの(みどりの)
風受け(風受け)
きらめく波に心は躍る
石段(石段)
上れば(上れば)
明日への光差してくる
幼くはしゃいだ砂浜
この手を握った温もり
どんな時も忘れないでゆくよ
前を向いて 涙をふいて
もう大丈夫!
ラ～ラララ ラ～ラララ
ラ～ラララ いつまでも
ラ～ラララ ラ～ラララ
ラ～ラララ ユーアー・マイ・ホーム!

歌のタイトルは「You're My Home」
歌詞の次は歌のメロディを作りました。ミサंगाが歌詞を基に作った3つの案を聞いて、感想や歌への思いを伝え合いました。

は市公式ホームページなどを通じて集めました。ミサंगाが出演した「ふくつの古墳まつり」で、来場者の皆さんにインタビューもしました。こうして集めたキーワードを基に、歌詞を作っていました。作詞で大切にしたいことは、何気ない福津の日常をそのまま歌詞に起こすことです。私たちは、福津に住んでいる人はもちろんのこと、どこの誰が聞いても「ふるさと」に思いをはせることができる歌にしたいので、歌詞を作りました。

た。最初に私たちが持った感想はさまざまでしたが、歌に対する思いを共有していくことで、全員の意見が一致しました。そして、歌のタイトルを考えました。「つながるさと」のイメージをタイトルで表すために、さまざまな意見を出し合いましたが、なかなか決まりません。ミサंगाから「みんなが納得するまで話し合って決めた方がいい」との言葉をもらい、メンバーでとことん話し合うことに。メールなどでも意見交換を続け、12月に開いた第10回目の実行委員会「あなたは私の帰る場所」「私の心が帰る場所」という意味を持つ「You're My Home」に決まりました。私たちの思いが詰まった歌がついに形となりました。

街角記者が行く

～広報ボランティアの取材報告～

Vol.13

想いをつなぐ ふるさと 福津の歌 ついに完成!

4月に「福津の歌」ができあがりました。この歌は、市内在住の高校生と大学生が、市の親善大使で、福岡を拠点に活動している3人組の音楽バンド「ミサंगा」と協力して作りました。

今回は福津の歌づくり実行委員会のメンバーとして、歌づくりに携わった安堂容平さんが、歌づくりの舞台裏や歌に込められた思いについて紹介します。



▲カメリアホールで歌の収録に臨む市民の皆さん

街角記者

安堂

容平



市内在住の高校3年生。学生たちの力で福津を盛り上げたいと「福津の歌づくり」に携わりました。

「街角記者が行く」とは、広報ボランティアが読者の皆さんを代表して記者となり、街角に出て、市や関連団体の取り組みを取材するコーナーです。記者の目線で、時には歯に衣着せぬ物言いで関係者を取材し、皆さんの疑問に答えていきます。

福津のパワーが詰まった歌が完成

みんなの力で
幸せを運んで広げたい

歌詞とメロディ、タイトルができた「福津の歌」。次は、福津について知ってもらい、親しんでもらうために1人でも多くの人に「福津の歌」を届けなければならない。そのために私たちは「福津の歌」のCD化を考えていました。歌詞の作成などと並行して、CDのジャケットを作成しました。

歌の収録に参加する人は、チラシなどで募集しました。募集の結果、市内の小中学生を中心



▲歌の収録に向けてみんなで話し合い

に、50人を超える人が集まってくれました。歌の練習は昨年12月に市中央公民館で行い、抑揚の付け方などはミサンガが説明してくれました。

そして、実行委員と歌を歌ってくれる皆さんと一緒に今年の1月にカメラアホールで歌の収録を行いました。始めは子どもから大人まで、全員が心をひとつにして合唱し、その後はパートに分かれて歌いました。ミサンガやスタッフの人に指導を受けながら、元気で明るい歌声がホールに響き渡りました。収録を終えて、ミサンガは「大勢の



▲ミサンガの生演奏で歌の練習

人に協力してもらったの歌の収録は初めての経験だったけれど、楽しませてもらった。完成した歌は福津に住む皆さんのパワーが詰め込まれたすてきな歌になった」と語りました。

歌の収録後、実行委員会で「福津の歌」を歌った合唱団の名前も決めました。私たちは、福津のふるさとのイメージを幸せの象徴と捉えていました。そこで、この歌を通して幸せを運んで広めていきたいという思いから合唱団を「幸せの運び屋ララーズ」と名付けました。

「福津の歌」が
できあがって思うこと

ジャケットのデザインが決まり「幸せの運び屋ララーズ」による歌の収録も終わり、CD化も達成しました。一区切りがついたため、ミサンガを囲んで、これまでのプロジェクトの感想を語り合いました。

まず、ミサンガに「福津の歌づくり」をお願いをしたときの感想を聞きました。高尾さんは「素直にうれしいと思った」、

これからも多くの人に
福津のパワーを届けたい

「You're My Home」には歌づくりに関わった、多くの皆さんの「ふるさと福津」への思いが込められています。福津の歌づくりプロジェクトはCD化まで達成しましたが、今後は、この「福津の歌」を活用して、福津が盛り上がるようなことに取り組むたいと考えています。現在、福津の歌づくりに携わったメンバーで歌と一緒に楽

佐藤さんは「今まで「イメージソングを作ってください」という依頼は多かったけれど『一緒に作りましょう』は初めてで新鮮だった」、高島さんは「学生みんなが発案者だったということがうれしかった」と話してくれました。

反対にミサンガから「このプロジェクトで難しかったことは」と聞かれました。実行委員のメンバーからは「学生たちでいろいろ決めないといけないかったので、とても大変だった」



パートごとに分かれて
歌の収録を行いました

「福津の歌」 を聞いてみよう!

福津の歌「You're My Home」は以下の方法で聞くことができます。福津の魅力を感じることができる、明るく活気あふれる市のイメージにぴったりの歌です。皆さんも地域や学校で、聞いて、歌って、演奏し、愛される歌に育ててください。

①YouTube「福津市公式チャンネル」で聞く

「You're My Home」は動画共有サイトのYouTubeで、歌の一部を試聴できます。詳しくはYouTube「福津市公式チャンネル」をご覧ください。



②図書館で借りる

市立図書館、カメラアステージ図書館でCDの貸し出しを行っています。貸し出し状況などは各図書館までお問い合わせください。

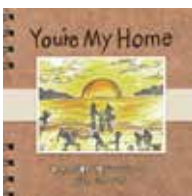
③CDを購入する

「You're My Home」を市役所で販売しています。購入方法など、詳しくはお問い合わせください。

販売場所 市まちづくり推進室窓口
販売価格 1枚500円（税込み）
販売日時 市役所開庁日の午前8時30分～午後5時

問い合わせ

①・③市まちづくり推進室 ☎43・8113
②市立図書館 ☎43・8000、カメラアステージ図書館 ☎72・1207



▲ジャケットは
実行委員がデザイン



▲できあがったCDを紹介するミサンガと実行委員のメンバー

街角記者が行く

～広報ボランティアの取材報告～

